

校種変更案に対する評価比較

案		校区への影響	第三者評価の結果 (一部抜粋)	地域意見交換会の反応 (一部抜粋)	令和 45 年までの 総コスト(概算)	その他
案 1	中小卒業生が船場一貫校に進学する案	◎	◎	○	◎	地域の声として ・案を変更することで削減したコストは教育に対して使ってほしい。 ・五中跡地は五中地域のためになる活用を。 というご意見がありました。
		影響なし	○小中一貫教育を他校区にも波及させられる案 ○施設一体型と施設分離型の複合型一貫校での勤務経験は教員の資質向上に大きく寄与する。	○ソフト面に労力をさける案は市民にとっても良いと思うので、案1が良い。 ○中小の子も中学校進学後は施設一体型のメリットを受けられる。 ✓一貫校に合流することで、仲間はずれにされないか心配	約 207 億円	
案 2	二中を 4 小 1 中とし一貫教育の教員を加配する案	△	×	×	◎	
		中学校区のみ 影響あり	✓連携する学校が増えるデメリットは、教員の加配では対応できない。	✓中小から五中へ進学する想定で家を買った人もいるので、中学校が変わることを嫌う人もいないか。	約 206 億円	
案 3	中小にも小中一貫校をつくる案	△	×	○	○	
		中学校区のみ 影響あり	✓少子化が進む中、統廃合ではなく新たに小規模校を作ることはメリットが少ない。小規模一貫校は人間関係の拗れを解消しづらい。 ✓中小の学校敷地が狭い。	○案3が良い。現在の中小の規模と、開校時点の中小一貫校の規模が同程度なので、現在の校舎を活用できると思う。 ○案3で整理することが一番落ち着くのではないか。 ✓1つの教育委員会が学校を2つ同時に作るのは労力が発生し大変だと思うので案3も少し優先順位が落ちる。	約 235 億円	
案 4	五中にも小中一貫校をつくる案	×	×	△	△	
		小・中学校区に 影響あり	✓過去の校区再編の結果が反映されず、通学距離が長いという課題が解消されない。 ✓五中の学校敷地が狭い。	○案4が良い。とどろみの森学園を見学したが、施設一体型小中一貫校は良いと思う。 ✓中小の通学距離の問題が解決していない。	約 269 億円	
案 5	船場に小中一貫校をつくり、中小・五中はそのままの案	×	×	×	×	
		小・中学校区に 影響あり	✓過去の校区再編の結果が反映されず、通学距離が長いという課題が解消されない。	✓中小の通学距離の問題が解決していない。	約 336 億円	
案 6	船場に小学校を新設する (現行案)	◎	△	○	×	
		影響なし	○一般的な形で過去に決定済の内容なので受け入れられやすい。 ✓新設校を契機とした全市的な小中一貫教育の推進にはつながらない。	○これまでの経過からも案6しか考えられない。 ○施設一体型を作るより、小学校のみ建設する方が良いと思う。 ✓教員の働きやすさは重要。学校間の距離があると連携がしにくく大変なので一貫校の方がいい。そう考えると案6の優先順位は落ちる。	約 316 億円	

※校区への影響 ……令和2年に決定した「新設校開校後の校区」に影響がない場合は◎、中学校区のみに影響がある場合は△、小・中学校の両方に影響がある場合は×

※第三者評価の結果 ……各専門委員の評価の内、「妥当ではない」「望ましくない」などのマイナスの評価した専門委員の人数に応じて、◎⇒○⇒△⇒×へ減点評価

※地域意見交換会の反応……賛成意見のみは◎、賛成意見が複数ある場合は○、反対意見が多い場合は△、反対意見のみは×

※R45までの総コスト ……最も安価な案2を◎、最も高額な案5を×とした場合の評価